

学校教育目標
ゆめ なかよし げんき

学校経営目標
自律した学習者の育成

ほめて長所を伸ばし、欠点を補う教育（人権尊重）
～「あいさつ」と「歌」が上手な学校～

1 具体目標

- (1) 目指す児童像 「気づき・考え・行動」できる子の育成
・「ゆめ」に向かって自ら学び、ねばり強く取り組む子（学力向上）
・みんなと「なかよく」できるやさしい子（人権尊重）
・”こころ”も”からだ”もたくましい「げんき」な子（体力の向上と健康増進）
- (2) 目指す教職員の姿
◎子どもや同僚のよさを認め、ほめる場を作り、意欲と能力を引き出す教職員
（やり方を見せる→分かるように説明する→児童にやらせる→できたことをほめる）
・人権意識の高い教職員

2 経営の方針

- (3つの課題解決：学力向上、豊かな心の育成、教職員の資質向上と健康、学校安全・安心の確保)

最重要課題：学力向上（児童主役の授業と家庭学習の一体化）

(1) 授業改善の3本柱（教師の意識改革）

- ①教師の役割の見直し（教える→支える）
・思考を促す指示・発問（問い返し、揺さぶり）・子どもの考えを引き出す
・議論する場面の設定（はじめ・中・終わりの授業構成）
- ②本物の体験で児童の主体性を伸ばす（協働的な学びの工夫）
（観察や見学、野外に出かけ地域の自然に親しむ）
- ③ICTで児童の学習意欲を高める授業づくり（積極的にPC活用）
・ドリルパークの効果的活用（自分の弱点を知り、積極的に取り組めるよう習慣化）
・導入の工夫（動画資料の提示）・ロイロノートの一覧機能を活用

(2) 授業に生かす家庭学習の工夫（発達段階に合わせた指導の工夫）

- ①家庭学習の計画を自分で計画できる子（自分の弱点や強みを知る）
②学習目標を決め、取り組むことができる子（授業での「なぜ」「どうして」を解決）
③取り組みをふり返り、プレゼンできる子（原因を突き止め解決法を見いだす）
④家庭に支援してもらう→a) 計画を一緒に立て、アドバイスしてもらう（低学年）
b) 1ヶ月の成果をほめてもらう c) 指示せず見守る
⑤その成果として、夏休みの本当にやりたい勉強の計画を立て、実践し、児童が成果をプレゼンする（夏休みの宿題は「0」→自分のことは自分で決める児童）

【学習外】豊かな心の育成（人権尊重・特別支援教育の推進）

(1) 自分や友だちの人権を大切にす児童の育成（多文化共生モデル地区を目指して）

- ①自己存在感・有用感（児童一人ひとりに活躍の場を設定し、成功体験の積み重ね）
②共感的な人間関係（児童が互いの考えやよさを交流し、学びあう場を工夫）
③いじめの根絶（いじめの積極的な認知と「いじめ防止委員会」で組織的に対応）
④安全・安心な風土の醸成（何でも話し合え、相談しあえるクラスの雰囲気作り）

(2) 特別支援教育の推進

- ①校内で共有し効果的な指導、支援
（特別支援COを中心に、通常の学級も含め、「気」になる児童）についての情報共有）
②切れ目のない支援（「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」を確実に引き継ぐ）

【学校運営】教職員の資質向上と健康、学校安全・安心の確保

- (1) 業務内容の見直し・改善（ICTの有効活用と教材費の見直し）
(2) ワークライフバランスを重視した職場環境の整備（積極的な年休取得）
(3) 服務規律の確保（不適切な指導・教師の言葉遣い・スマホの教室持ち込み禁止・保護者や児童生徒との個人的なメール禁止）
- (4) 安全指導や安全対策の徹底
- ①危機管理意識（危険を予想、安全点検の実施、報連相による迅速な対応）
②安全教育の徹底（実効性のある避難訓練、児童による自主的な活動）
③事故発生時の迅速な対応（首から上の怪我は必ず保護者へ連絡、救急車の要請）
④整理整頓（教室、廊下、教材室：掃除の徹底）